

令和7年別府市11大ニュース

【対象期間：令和7年1～12月】

NO.	月	事 項（タイトル）	内 容	部署
1	3	別府市制100周年フィナーレ ・別府市誌の発行	100周年の締めくくりとして、未来へ「ありがとう」の気持ちを繋いでいくことをテーマにフィナーレイベントを開催し、約1,000名の市民の皆様にご参加いただきました。 また、100周年を記念し、20年ぶりとなる別府市誌「通史編」「図鑑編」を刊行しました。デジタル版では、通史編・図鑑編とともに日本語版及び英語版を無料で公開しています。	企画戦略部 教育部
2	3	第3期別府市総合戦略策定	令和7年度から令和11年度を期間と定めた第3期別府市総合戦略を策定しました。 市内大学に通う学生と市役所若手職員とが連携し、本市の目指すべき将来像である地域ビジョンを定めるとともに、これまで実施してきた取組の成果を踏まえ、基本目標や施策に関する基本的方向、具体的な施策を再編しました。	企画戦略部
3	4	湯けむりライドシェアGLOBAL 運行開始	外国人観光客の増加やコロナ禍でドライバー不足による移動手段確保に対応するため、配車アプリを活用した新しい交通サービス「湯けむりライドシェアGLOBAL」を開始しました。これにより、さらなる観光需要の獲得と公共交通機関の混雑が緩和され、市民の皆様の移動需要にも貢献しました。	企画戦略部
4	5 8 9	大阪・関西万博への出展PR	大阪・関西万博において、様々な団体とともにブース出展を行い、国内外の観光客誘致に取り組みました。 また、別府から万博の観覧を行う子どもたちや保護者を対象に体験費用等補助金制度を創設し、期間中、約900人の子どもたちが万博を体験しました。	観光・産業部 教育部
5	7	上人ヶ浜公園整備事業 「SHONIN PARK」 オープン	Park-PFI事業として整備を進めていた上人ヶ浜公園北エリアが、松林や芝生広場など従来の公園環境を生かしながら、レストラン、ショッピングエリア、宿泊コテージなど新たな魅力をえた「SHONIN PARK」として生まれ変わりました。海浜砂湯は、一度に入浴可能な人数が従来の2倍になり、海を臨む大浴場や砂落とし用のシャワーブースを完備し、多くの皆様のご利用が可能となりました。	建設部
6	8	「新湯治・ウェルネス」 「SHIN-TOJI and Wellness」 商標登録	「新湯治・ウェルネス」及び「SHIN-TOJI and Wellness」が特許庁の審査を経て商標登録されました。これにより新湯治・ウェルネスは商標として保護され、別府の象徴的なブランドとして、その価値をさらに高めることとなりました。	市長公室

NO.	月	事 項（タイトル）	内 容	部署
7	8 10	べっぷみんなにお米配布事業の実施	物価高騰の影響を受けている市民の皆様の生活を支援するため、8月に第1弾「お米で子育て応援事業」として18歳以下の赤ちゃんのいる子育て世帯にお米3kgを配布しました。また、10月には子育て世帯以外の方を対象とした、第2弾「おこめ券で生活応援事業」では、お米購入時に利用できる「全国共通おこめ券」への引換券2,640円分を配布しました。	観光・産業部
8	8 11 12	広域観光連携協定の締結 (8月 宇佐市) (11月 宇佐市・台湾台南市) (12月 由布市)	各市が持つ観光資源や情報を共有し、地域間の交流拡大と外国人をはじめとした観光客誘致を図るため、観光連携協定を締結しました。 今後は、プロモーション事業等を共同して行うなど、広域で誘客事業に取り組むことで、さらなる観光振興及び相互の交流の促進を目指します。	観光・産業部
9	10	救急隊の増隊	全国的な救急需要の高まりや市内救急出動件数が8,000件を大きく超えている現状を踏まえ、救急隊を1隊増隊した5隊体制での運用を開始しました。 増隊に伴い、搬送時に傷病者の負担が少ない電動ストレッチャー付新規救急車を整備しました。救急搬送体制の充実により、市民の皆様の安全確保を目指します。	消防本部
10	11	第30回全国棚田（千枚田）サミット開催	「棚田でウエル 想いと願いをこめて」をテーマに、第30回全国棚田（千枚田）サミットin別府がビーコンプラザと市内5つの棚田を会場に開催されました。全国35都府県から約1,000名の棚田関係者が訪れ、棚田の課題等についての意見交換や先進事例を共有し、別府市の棚田の魅力を全国に向けて発信しました。	観光・産業部
11	11	楠銀天街のアーケード撤去及び道路工事の完了	かつて賑わいの中心として繁栄した南部地区の楠銀天街アーケード撤去及び道路工事が完了し、新たなまちづくりに向けて「BEPPU楠銀通り会・南部ひとまもり・まちまもり協議会」による楠銀リニューアル完成祭が開催されました。市は、令和6年1月から国の補助金を活用し、長年、地域の課題となっていた老朽化により危険な状態にあったアーケードの撤去工事、道路工事に着手し、地域とともに課題解決に取り組みました。	市長公室 観光・産業部 建設部